

< NPO法人等の非農家等との連携を実施している事例 >

米づくり体験学習で世代間交流

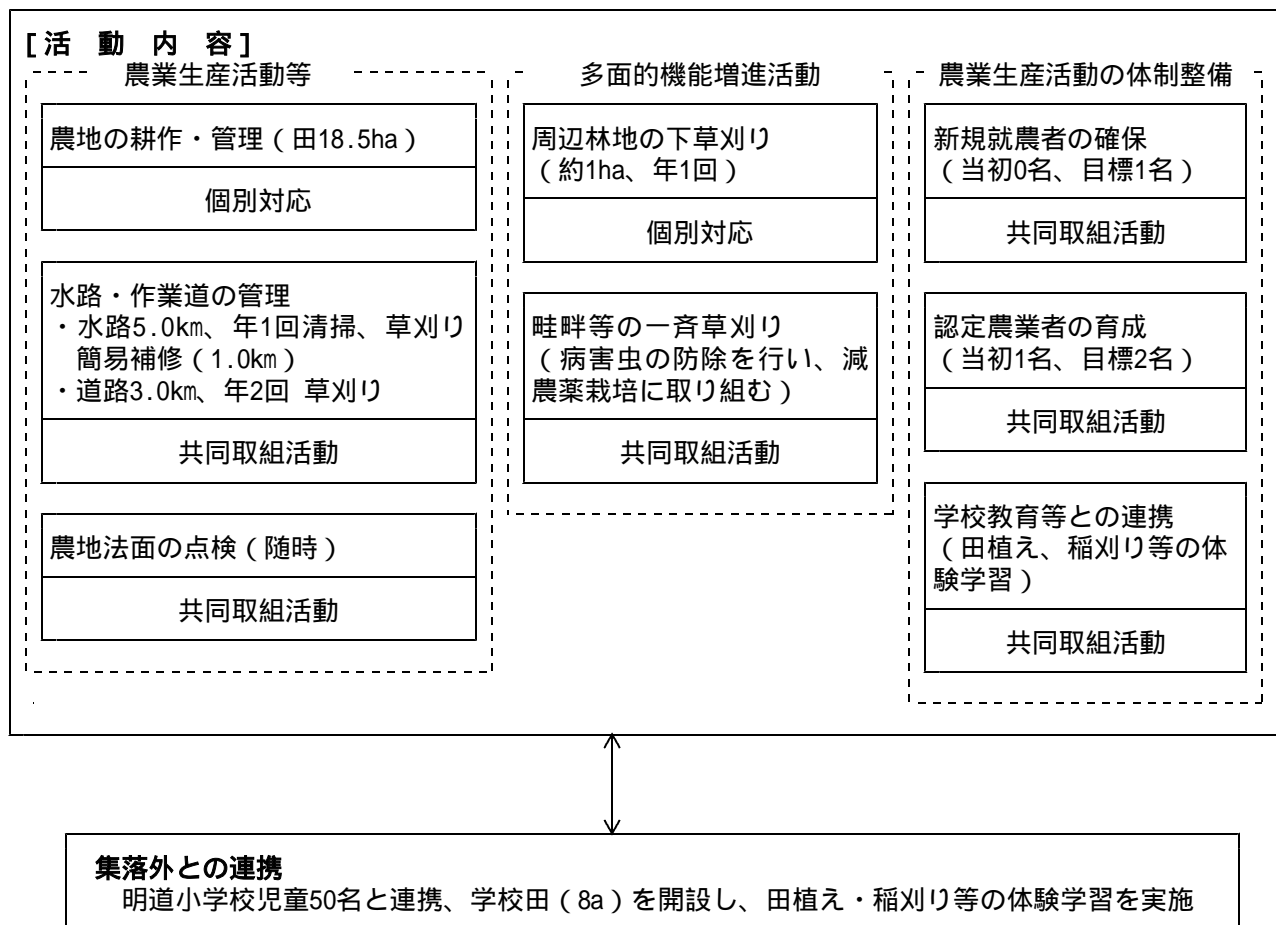
1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県西津軽郡深浦町 <small>にしつがるくんぷかうらまち</small> 黒木明道土地改良区 <small>とどろきめいどうとちかいりょうく</small>			
協定面積 18.5ha	田(100%) 水稻	畑	草地	採草放牧地
交付金額 148万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費(役員報酬)		6%
		体制整備に関する活動経費		2%
		農道・水路等の維持管理等経費		24%
		交付金の積立・繰越		17%
その他			1%	
協定参加者	農業者 34人(うち非対象農業者8人)			

2. 集落マスタープランの概要

当集落は、昭和42年に土地改良事業を施行し、昭和47年に完了した津山開田と鶴緑開田の2団地で形成されている。現在のところ、農地の引き受けがうまく行われており、休耕田はないが、担い手の育成や確保、農作業受委託の推進を図ることとした。

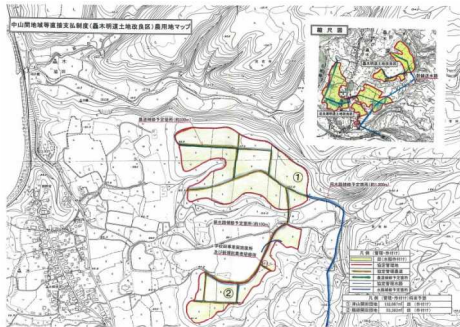
また、地元住民と交流を深め、活力ある集落を目指すこととしている。



3. 取組の経緯及び内容

近い将来、農業者の高齢化や後継者不足等が予想され、耕作放棄の発生が懸念されることから、認定農業者及び新規就農者の育成・確保に努め、担い手への農作業委託を推進し、耕作放棄の発生を防止することとした。認定農業者については、平成18年度までに2名が認定されており、新規就農者についても、平成21年度までに認定を受けることを目標に研修を実施している。また、明道小学校と連携し平成17年度に学校田を設置、田植え・稲刈り等の体験学習を行い、交流を図っている。

農用地等保全マップ



水路、農道の管理・補修予定箇所・学校田事業実施箇所及び新規就農者研修田の位置を図面に示した。



学校田（でんでんむら）



稲刈り体験学習

[平成19年度までの主な効果]

新規就農者の確保（当初0名、目標1名、H19実績（候補者1名研修中））

認定農業者の育成（当初1名、目標2名、H19実績3名）

小学校児童と自然生態系の保全活動

平成17年度から、地域の明道小学校（児童50名）と連携し、学校田（8a）に田植え・稲刈り等の体験学習を実施。

担い手への農作業委託による低コスト化

水稲作業全般を2.2ha委託。（当初0ha、H19実績2.2ha）（目標の設定なし）

農道・水路の簡易補修

農道（当初0m、目標330m、H19実績100m）

水路（当初0m、目標1,100m、H19実績500m）